

Small Talk台本①（第2時・第4時のはじめ5分）

進め方（文科省の型）：帯活動として2時間に1回。6年はペアで伝え合うことを中心に、相手を替えて1～2分×2回。1回目のあとに中間指導（下の「ことばの補給」）を挟む。なりきりではなく**本当の気持ち・本当の出来事**を話す。

話題1 先生の週末（第2時）

板書：I went to ～. I ate ～. It was ～. [sea / zoo / curry の絵カードを貼る]

T Hello! How was your weekend? My weekend? OK, listen!

こんにちは！週末どうだった？先生の週末？よし、聞いて！

T I went to the supermarket. (歩くジェスチャー) And... I ate curry and rice!

スーパーへ行きました。それから…カレーライスを食べました！

T It was delicious! Yummy!

おいしかった～！

T How about you? Pair talk! What did you do?

みんなは？ペアで話してみよう。何をした？（1～2分×2回・相手を替えて）

S I went to the park. / I played soccer. It was fun!

（単語だけでも、ジェスチャーつきでもOK）

つまった子への助け舟：話せない子には絵カードを2枚見せて Park? Or house? と選ばせる。選んで指させたら That's nice! で成立。

話題2 夏休みのいちばんの思い出（第4時）

板書：My best memory of summer I went to ～. I saw ～. It was ～.

T Today, my best memory of summer! I went to the river.

今日は先生の夏休みのいちばんの思い出！川に行きました。

T I saw fireworks at night. (打ち上げのジェスチャー) It was beautiful!

夜には花火を見ました。きれいだった！

T Your turn! Tell your partner your best memory. Change partners... go!

次はみんなの番。ペアに夏のいちばんを伝えよう。相手を替えて2回！

S I went to my grandparents' house. I ate watermelon. It was fun!

（3文そろわなくてよい。1文＋感想で十分）

つまった子への助け舟：「どこにも行ってない」の声には I stayed home. I watched TV. It was relaxing! と先生が板書して選択肢に加える（家で過ごした夏も対等な思い出）。



中間指導 1回目のあとに全体で（ことばの補給）

1回目のあとに全体で：「あいての話に Wow! / Nice! / Really? を返せた人？」→ 感想への相づち + How about you? のどちらかを1つ選んで全員で練習→2回目へ。

対話を続けることば 黒板横に掲示しておく

はじめる	Hello! / How are you?
くり返す	Soccer? Me, too!（あいての言葉をくり返す）
ひとこと感想	Nice! / Wow! / Really? / Good!
たしかめる	Pardon? / One more time, please.
さらに質問	How about you? / Why?
おわる	Thank you. / See you!

先生へ

- ・6年のSmall Talkは「ペアで伝え合う」が中心（5年の聞く中心とは型が違う）。先生の話は1分で切り上げ、ペアの時間を確保する
- ・先生の思い出は本当のことを。地味な週末ほど子どもは安心して自分の話ができる
- ・過去形の文法説明はしない。went と go の関係に気づいた子は「よく気づいたね、中学で秘密がわかるよ」と流す